

東日本大震災が発生した3月11日を迎えるにあたり

かけがえのない多くの尊い命が失われ、各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災から12年回目の3月11日を迎えるにあたり、犠牲になられました方々に心よりご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された全ての方々に、心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災は、最大震度が7を観測し、東北地方の太平洋沿岸部を中心に広い範囲に甚大な被害をもたらし、改めて地震の恐ろしさを認識させられ、「防災」の考え方を大きく見直すきっかけとなりました。

また、マグニチュード8～9級とも想定される南海トラフ巨大地震の今後40年以内の発生確率が90%程度に引き上げられるなど、大きな地震に対する警戒が高まっています。

さらに、近年は大型台風や線状降水帯による集中豪雨にともなう自然災害のリスクが高まり、本町においても平成25年の台風18号や平成29年の台風21号において、河川の決壊や浸水などの被害が発生しています。

このことから、東日本大震災などをはじめとする自然災害から学び、得た教訓を忘れることなく、災害はどこか遠いところで起きるものではなく、自分たちも当事者となることを心に刻むことが、災害に対する日頃の備えにつながっていく大きな源となります。

竜王町としましては、防災に対する意識を常に維持し、いかなる災害に見舞われたとしても、「行政」「地域」「住民」が連携強化をはかりながら、迅速かつ的確な対応ができるよう努めますとともに、町民の皆さんが安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組んでまいりますので、町民の皆さまにおかれましても、改めてご協力をよろしく申し上げます。

最後になりましたが、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げ、3月11日を迎えるにあたっての、町長メッセージとさせていただきます。

令和5年3月10日

竜王町長 西田 秀治